

令和6年7月22日

【富山県美術館】TAD アート・レクチャー開催

富山県美術館では、さまざまな角度で作品の魅力に迫る機会として、アーティストや研究者などによる講演会「TAD アート・レクチャー」を開催しています。

今回は、アーティスト、東京藝術大学学長の日比野克彦(ひびの かつひこ)氏を講師に、「私たちとアートとウェルビーイング」をテーマとしたレクチャーを行います。

概要

講演会

「私たちとアートとウェルビーイング」

日時

令和6年9月29日(日曜日)午後2時00分～午後3時30分予定(※)開場：午後1時30分

講師

日比野克彦氏 (アーティスト・東京藝術大学学長)

会場

富山県美術館・3階ホール

定員

80名／聴講無料、事前申込不要、先着順
(※)ヒアリンググループシステムをご利用いただけます。

注意事項

会場での飲食、講演会の録音・撮影等はできませんので、ご了承ください。
内容等、都合により変更する場合があります。詳細はHP等でご確認ください。

内容

富山県では成長戦略の中心に「ウェルビーイング (well-being)」を据えています。社会と個人をアートでつなげる活動を全国で展開中の日比野克彦氏に、アートとウェルビーイングについてお話いただきます。

講師略歴

日比野克彦（アーティスト・東京藝術大学学長）



1958年岐阜県生まれ。東京藝術大学に在学していた80年代前半より、社会メディアとアートを融合し表現領域を拡大する活動に大きな注目が集まる。95年にヴェネチア・ビエンナーレにも参加するなど多彩な活動を展開。また地域の場の特性を生かしたワークショップ、アートプロジェクトを99年より各地で継続的に実施。現在、岐阜県美術館、熊本市現代美術館にて館長、母校である東京藝術大学にて1995年から教育研究活動、2022年から学長を務め、芸術未来研究場を立ち上げ、現代に於けるアートの更なる可能性を追求し、企業、自治体との連携なども積極的に行い、「ア

ートは生きる力」を研究、実践し続けている。

